

中期五ヶ年経営計画のための事業評価シート

資料 9-9

【一般社団法人ばんえい競馬馬主協会】

＜計画年度：平成29年度～平成33年度＞

事業名	施設整備費用	定款条項	第4条第1項第8号事業【その他この法人の目的を達成するために必要な事業】	評価年月	平成29年1月
-----	--------	------	--------------------------------------	------	---------

事業運営方針	○施設、整備等の老朽化が進んでいる状況で、安全で機能的かつ経済性に十分配慮した長期安定稼働を目指す職場環境を形成する。				
本計画の目標	1	整備にあたっては、財政負担の平準化を図り計画的に維持保全	3	機能を向上し、安全で快適に利用できる職場環境をつくる	
	2	利便性を確保しながら費用の縮減を図る			
具体的な取組み	1	競馬場施設全体及び厩舎等の改修計画の確認	3	事務所の施設、設備の修繕及び什器備品等の計画的な更新	
	2	施設整備に関する関係団体等との連絡調整及び要請活動	4	システム、電子機器等のメンテナンス及び更新	

◎過去五ヶ年の事業費の推移

(単位：千円)

区分	年度	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (予算)
経常収益		0	0	0	5,717,630	2,230,000
内 訳	市補助金(診療)				5,717,630	2,230,000
経常費用		270,795	229,215	383,091	5,857,166	2,369,000
内 訳	什器備品	190,785	124,635	333,195		
	修繕費・整備費	80,010	104,580	49,896	139,536	139,000
	診療器材等				4,499,862	1,030,000
	診療施設等修繕				1,217,768	1,200,000
経常外費用						
管理費振替額		270,795	229,215	383,091	139,536	139,000

◎本事業の現状と課題等

【現状】 ①当協会が入所する建物は昭和49年の建造物であり、老朽化が著しく耐震性にも問題がある。 ②調教師会と事務局分離後22年が経過し、事務用什器備品など老朽化が著しく更新時期にある。 ③事務局、会議室、窓サッシ枠、入口戸等改修が必要な個所が複数存在している。	【課題】 ①建物の所有者は十勝農協連なので、大規模な工事は出来ないが、耐震性の問題もあり、いずれ近い将来改修が必要 ②更新が必要な償却資産に該当する有形固定資産の新規購入が必要(事務用什器備品など) ③細かい修繕、補修、補強は随時行っているが、工事を伴う大掛かりな改修には一定程度のまとまった予算措置が必要
--	--

◎本事業の今後の方向性等(見直し改善案等)

①施設の改修等については、基本的にその所有者である十勝農協連(規模によっては、主催者である帯広市)の管轄であり、当協会が直接手を加えるべきものではないが、職場環境として最低限、耐震性等安全にも配慮すべき問題はある。
②今後、競馬場施設全体の改修計画やきゅう舎等の改修すべき優先順位もあると思うが、併せて当該施設についても検討するよう関係諸団体に要請が必要である。
③設備等については、故障により急遽修繕、交換等を余儀なくされる場合もあるので、ある程度計画的に予算措置をして更新していくのが望ましい。

◎評価基準

A 現行の事業規模・同内容で継続する	必要性	◎
B 現行の事業規模を拡大し、同内容で継続する	妥当性	○
C 現行の事業規模を拡大し、内容を見直して継続する	有効性	○
D 現行の事業規模を縮小し、同内容で継続する	効率性	○
E 現行の事業規模を縮小し、内容を見直して継続する	公平性	△
F 現行の事業内容を見直して継続する	予算規模	△
G この事業は目的を達成したので廃止又は休止する	執行体制	△

【総合評価・意見等】

設備整備、什器備品等の老朽化に伴う更新等については、長期的な整備や更新の目標を見据えた上で、重点的投資と、全体的に網羅する投資とを区別し、出来る限り財政負担の平準化を計画的に進めるべきである。また、不測かつ突発的な事故に備えるため、予備の要素も計画に反映。

判定
F